

令和5年第1回潟上市議会定例会会議録（3日目）

○開 会 令和5年3月2日 午前10:00

○散 会 午前10:38

○出席議員（17名）

1 番 菅 原 理 恵 子	2 番 鈴 木 壮 二	3 番 藤 原 仁 美
4 番 戸 田 俊 樹	5 番 佐 藤 義 久	6 番 澤 井 昭 二 郎
7 番 堀 井 克 見	8 番 藤 原 典 男	9 番 中 川 光 博
1 1 番 菅 原 秀 雄	1 2 番 石 井 和 人	1 3 番 西 村 武
1 4 番 鑑 仁 志	1 5 番 菅 原 龍 太 郎	1 6 番 伊 勢 潤
1 7 番 佐 藤 敏 雄	1 8 番 小 林 悟	

○欠席議員（1名）

1 0 番 鈴 木 司

○説明のための出席者

市 長 鈴 木 雄 大	副 市 長 鎌 田 雅 人
教 育 長 工 藤 素 子	総 務 部 長 千 葉 秀 樹
市民生活部長 菅 生 司	福祉保健部長兼福祉事務所長 筒 井 弥 生
産業振興部長 小 野 貴 宏	建 設 部 長 畠 山 修
教 育 部 長 澁 谷 豊	総 務 課 長 古 仲 淳
企画政策課長 安 田 秀 樹	財 政 課 長 伊 藤 強
社会福祉課長 宇 瀬 隆 広	健康長寿課長 櫻 庭 輝 雄
都市建設課長 佐々木 涉	教育総務課長 齊 藤 栄 子

○議会事務局職員出席者

議会事務局長 伊 藤 国 栄 議会事務局次長 宮 崎 久 春



令和5年第1回潟上市議会定例会日程表（第3号）

令和5年3月2日（3日目）午前10時00分開会

会議並びに議事日程

日程第 1 一般質問



午前10時00分 開会

○議長（小林 悟） おはようございます。傍聴者の皆様、朝早くからご苦勞様でございます。

ただいまの出席議員は17名であります。

なお、10番鈴木 司議員から欠席の届け出がありましたので、ご報告いたします。

定足数に達していますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

【日程第1、議員の一般質問】

○議長（小林 悟） 日程第1、一般質問を行います。

一般質問については、1回目の質問は一括質問・一括答弁方式で行いますが、再質問からは項目ごとに一問一答方式により行います。

なお、時間は答弁を含めて60分とし、質問の最初は質問席において、再質問は自席において行います。

本日の発言は、8番藤原典男議員となります。

8番藤原典男議員の発言を許します。8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） おはようございます。マスク外してもいいですか。

○議長（小林 悟） はい、どうぞ。

○8番（藤原典男） 日本共産党の藤原典男でございます。3月議会を準備されました市長はじめ職員の皆さん、本当にご苦勞様です。

私は、物価高騰下での市民生活への応援について、2つ目は、重篤な方へのタクシー券の発行について、3つ目は、道路ヒーターの増設について質問いたしますので、宜しくお願いいたします。

それでは、1つ目、物価高騰下での市民生活への応援について質問いたします。

最近の物価高は、資源高や円安による輸入物価の上昇でのインフレ、食料品や電気、ガス料金などの値上げが家計を圧迫しております。4月からのこの地域での電気料金の値上げは32.94パーセントが予定されており、意見を聞く公聴会では、大変な批判、反対の意見が出た模様でございます。食料品の値上げは、1月は小麦粉を使った商品や調味料580品目の値上げがされました。2023年の値上げは、2月は4,283品目、3月は1,837品目が予定されているようで、再値上げ、または価格はそのまま内容量を減らす実質値上げを含むと7,390品目となる予定であり、家計は大変厳しくなります。

物価高にもかかわらず年金は0.4パーセントの引き下げで、この10年間では年金の名目額から物価上昇分を引いた実質年金額は6.7パーセントも減額となっております。1970年代のインフレのときには年金額を何回も引き上げ、物価スライドの前倒し実施も行いました。今、この政策が必要ではないでしょうか。

安倍政権のもとで、消費税が5パーセントから8パーセント、10パーセントと2回も上げられたことも今響いていることと思います。大企業は、この間500兆円にも内部留保金が増えました。この一部を賃上げに回し、緊急的に消費税を5パーセントに戻すことなどやれば、今の経済を乗り切れると私は思います。消費税で年間負担が12.5兆円、国民1人当たり年間10万円の負担増となっており、さらに物価高は1世帯当たり約10万円の負担増となります。物価高に見合う賃上げも時給1,500円、手取りでは20万円以上や、中小企業で働く労働者の賃上げも必要です。

コロナ・物価高対策で少し紹介しますと、埼玉県の蕨市は2023年度の予算の提案で、水道基本料金の4か月無料化、保育園・幼稚園、小・中学校の給食費の4か月間の無料化、私立や市外の学校に通う子どもも対象です。抗原検査キットの配備、子ども家庭センターや小学校体育館へのエアコン設置、環境分野では「地球温暖化対策設備等設置費補助金」を拡充し、太陽光発電システムへの補助金の拡大や、新たに市内業者への補助も始めるようです。

本市においても、エコ家電商品購入への補助や灯油代への補助、給食費値上がりストップのための補正予算や、介護施設、飲食業者や農業関係の補助も行い、喜ばれてきましたが、諸物価の値上げから最低限の市民の生活を守るために、また、地域経済の活性化のためにも直接的な援助など再度必要ではないでしょうか。今後の市の対応を伺います。

2つ目の質問です。重篤な方へのタクシー券の発行について。

市の制度である潟上市重度障害者移動費給付等事業は、障がいを持つ方がタクシーを利用する際に初乗り運賃を年10回まで補助する制度であり、大変喜ばれておりますが、その対象となる方は、身体障害者手帳1級、2級の方、下肢3級の方、体幹、視覚障がい、透析をされている方、難病、養育手帳A、精神障害1級の方と、いずれも障害者手帳を持参している方に限っておりますが、障害者手帳を持っていなくとも同程度の障がい等級に該当する要介護度3、4、5の方も含めてこの制度を利用することができるよう、適用範囲の拡大が必要と思われませんが、いかがでしょうか。また、利用することの

できる回数を増やしていただければ、社会活動にも参加できる機会が増えて生きがいある楽しい生活を送ることができるようになり、地域の活性化にもつながると思いますが、当局のご所見を伺います。利用状況や、この制度の周知についてもどのように対応しているのか伺いたいと思います。

3つ目、道路ヒーターの増設について。

現在、冬期間の道路凍結などによる交通事故や交通停滞対策の解消のために市内3か所にロードヒーターが設置されておりますが、ほかの場所にも設置の必要があると思いますので所見を伺います。

市内のロードヒーターは、大豊小学校ロードヒーター、天王・追分三差路ロードヒーター、天王ふるさと農道ロードヒーターですが、それぞれ勾配が急であり、交通量も多いところであります。冬期間の交通事故や交通停滞の解消のためにそれぞれ重要な役割を果たしておりますが、それぞれ設置した理由もあると思います。

市内を見回しますと、勾配が急な箇所や強い風のために路面が凍結し、危険になる道路が幾つかあります。それらを見直しし、必要な箇所にはロードヒーターの設置をしていくのは、市民の朝の通勤・通学などの安全・安心を確保することになるのではないのでしょうか。特に学校付近などは車の出入りが激しいし、各小学校・中学校への通学の際の子どもの安全にとっても必要と思われませんが、どうでしょうか。横断歩道がある場所では歩行者を想定して気をつけて走行しても、凍結した道路ではすぐ車を停止させるのは困難なときもあります。当局の所見を伺います。

以上、壇上から質問しましたが、答弁を宜しくお願いいたします。

○議長（小林 悟） 当局より答弁を求めます。千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） 8番藤原典男議員の一般質問の1つ目「物価高騰下での市民生活への応援について」お答えいたします。

本市ではこれまで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用し、コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者を支援してまいりました。

このうち、生活者支援として、市内全ての世帯を対象とした生活応援金給付金事業や、物価高騰の影響が大きい市民税非課税世帯等を対象とした給付金事業を実施するとともに、家庭におけるエネルギー費用の負担軽減を図るため、省エネ性能の高い家電等への買い替えに要する経費の一部を助成しました。

また、事業者支援として、農業生産者等に対して光熱動力費の一部を補助したほか、トラック運送事業者に対しても、燃料費のかかり増し費用の一部を助成しております。

さらに、小・中学校の給食費にかかる物価高騰分を補助したことで、保護者負担の軽減を図ったほか、市内にある介護施設及び障害者支援施設等に対してもエネルギー価格高騰分を補助しております。

ご質問の物価高騰下での市民生活への再度の援助については、国際情勢や円安の影響、社会経済状況等を見極め、国や県の動向、さらには市民生活や事業者等への影響を注視しつつ、必要に応じて適切に対応してまいります。

○議長（小林 悟） 筒井福祉保健部長。

○福祉保健部長兼福祉事務所長（筒井弥生） 8番藤原典男議員の一般質問の2つ目「重篤な方へのタクシー券の発行について」お答えいたします。

ご質問の1点目の「制度拡充の考えについて」と、2点目の「利用状況や制度の周知について」は、関連がありますので併せてお答えいたします。

要介護度3以上の中重度の認定を受けている高齢者の多くが特別養護老人ホームや老人保健施設に入所したり、短期入所施設を長期で利用したりする傾向にあり、タクシーを利用しての外出支援のニーズは、ほとんどない状況であります。

また、重度障がい者1,025名のうち、令和5年1月末現在、タクシー券を申請した方は76名で、申請率は7.4パーセントとなっております。

この制度については、毎年、広報かたがみ4月号と市ホームページにより対象となる方へ申請の呼びかけを行うとともに、手帳の交付時に「障がい者の手引き」を配布し、周知を図っておりますが、現状として、対象者の多くが60歳以上であり、施設に入所してタクシーを利用する機会自体が少ないことや、在宅で障害福祉サービスを受けている場合には、この制度を利用しなくても、重度訪問介護給付等によりヘルパーから外出時の移動支援等が受けられることなどがあります。

こうした状況に鑑み、現在のところ、制度を拡充して対象者を拡大したり、タクシー利用券の交付枚数を増やしたりする考えはありませんが、利用を希望する方が申請する機会を逃すことのないよう、これまでと同様に制度の周知を適切に図っていくとともに、利用者からアンケート調査を行うなど、引き続き福祉ニーズの把握に努めてまいります。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） 8番藤原典男議員の一般質問の3つ目「道路ヒーターの増設に



ついて」お答えいたします。

議員ご指摘のとおり、本市では、冬期間の路面凍結による交通事故の防止や渋滞の軽減のため、市内3か所にロードヒーティングを設置しております。

ご質問のロードヒーティングの増設については、既存の3か所の状況を鑑みると、設置に要する工事費に加え、運転にかかる電気料、保守管理料及び維持修繕料等のランニングコストに多額の費用が必要となります。

こうしたことを踏まえ、懸念される事故や渋滞が特に多発していない状況を考慮し、ロードヒーティングの増設ではなく、橋梁・急勾配・急カーブ・交差点・横断歩道等に対するきめ細やかな機械除雪と凍結防止剤の散布などを行うことにより、引き続き道路管理における安全対策を適切に実施してまいります。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員、再質問ありますか。8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 今まで全世帯対象に、それから非課税世帯とか、省エネ家電とか、事業者、トラック業者とか、いろいろこう縷々行ってきた支援についても答弁ありましたけれども、これは本当に大切なことで、そういうふうなことを取り組んできたことに対しては、私はよかったなと敬意を表したいと思います。

それで、先ほども言いましたけれども、東北電力が32.94パーセントの値上げ、4月からね。それからあとは、諸物価がもう何千品目と値上がる中で、今、市民の声というふうなのは厳しいというような声が挙がってるんですけども、特に医療費を切り詰めるか、食費を切り詰めるかという悲痛な声もあるんですけど、しばらくお医者さんにも行けないというふうな方もいるんですよ。で、こういうふうな市民の声というのは、市長あれですか、いろいろ聞いてますか。

○議長（小林 悟） 鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） 藤原議員の再質問にお答えします。

正式な要望という形で市民の方々からお話を伺ってるわけではございませんけれども、私も市内方々各種会合等出席したり、プライベートでも買い物したり、市民の方とお会いする機会ありますけれども、そういう場面においては、やはり昨今の物価高騰に対する生活状況の厳しさ、そういったもののお声といいますか、肌感覚としても私も大変厳しい状況があるのではないかという認識でおります。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 市長も市民の苦しい今の生活の状態が分かるというふうなことでしたけれども、今、県でも国でもそれぞれ県議会、それから国会やっております、予算伴ういろんなことをやっておりますが、経済支援のね、今後、市に対する見通しというのは、お金が入ってくるとか入ってこないとか、そういうふうなところのあれですか、見通しというのは今聞こえてきますか。

○議長（小林 悟） 鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） 再質問にお答えします。

国及び県の具体的な支援というものについては、まだそういった声は聞こえておりません。ただ、県においては、エコ家電買替事業等については今月から実施するというお話も伺っておりますが、国の方についてはちょっと具体的なその交付金の交付というようなお話は、まだ情報として把握しておりません。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 最初に質問した市長のね、市民が生活苦しいというなのは理解しているというふうなことでしたけれども、今の時点でかなりのもう4月以降も値上げが行われますけれども、本市としてもやはり経済支援を行うべきだと思いますね。どうですか。

○議長（小林 悟） 鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） 再質問にお答えします。

その経済対策については、私自身も本市として適宜適切に対応していかなければいけないものだと思っております。現在、当初予算の方、本議会の方に提出しておりますけれども、そういった今後の市の財政状況、そしてまた、なかなか支援策によっては市単独ではいけない部分もあると思います。そういったものにつきましては、国や県の動向もしっかりと注視しながら、また電力料などについては東北電力さんなんかともいろんな情報を共有しながら、昨年同様に適宜適切なタイミングで支援の方は考えていきたいと思っております。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 何といたってもやはり市単独ではできないというふうなことも私は承知しておりますので、県・国に対する市民への経済支援を要望していくべきだというふうに思います。

それで、私、そういうふうな、まずお金が確保できたとすれば、市民全世帯を対象に、

非課税世帯ということじゃなくて、非課税世帯でももう大変な家庭もありますから、市民全世帯に行き渡る経済支援ね、市の補助というふうなことをやっていくべきだと思いますが、それについてはどうですか。お金がもう確保できたとなれば全世帯を対象にというふうなところの考え方はどうですか。

○議長（小林 悟） 鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） 再質問にお答えします。

前提となるのが、その時々、その社会経済情勢というのでも踏まえなければいけないと思っております。その場合において、給付金のようなプッシュ型であるとか、エコ家電事業のような制度的なものを立ち上げて市民の皆さんの家計の支援をする事業、そういったものを複合的なものを取り組むことによって広く市民の皆様の支援につながっていくものと考えておりますので、そういった場面で、繰り返しになりますけれども、適宜適切に対応なり、事業の方を考えていきたいと思っております。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 是非、全世帯、市民を対象に本市でも、国・県の補助金もありますけれども、素早く引き続き経済支援をやっていただきたいということをご提言申し上げまして、次の質問に移ります。

タクシー券のことなんですけれども、介護度3、4、5の人はほとんど施設に入ってその利用度がないというふうなことをおっしゃられましたけれども、4、5の方については施設に短期でも長期でもほとんど入っていると思うんですが、介護度3ぐらいの方は自分でいろいろ、何ていうんですか、社会経済活動、交流したり、そういうふうなことはできると思うんですよ。それで、まるっきり3、4、5の要介護度の方が入所しているというふうなわけではないと思うんですが、そこら辺はあれですか、状況はつかんでますか。

○議長（小林 悟） 筒井福祉保健部長。

○福祉保健部長兼福祉事務所長（筒井弥生） ただいまの質問にお答えします。

要介護度3という状況でございますが、常時介護が必要な状況ということでございます。立ち上がり等にも介護が必要な状態で、その方が一人でなかなか外出ということは難しいのではないかなというふうに思っております。

先ほどの入所している方が要介護度3以上で非常に多いというふうなお話をさせていただきましたが、実際に中・重度の方どのくらい施設等利用されているかという、特

別養護老人ホーム、基本的には要介護3以上の方、この方が228人、それから介護老人保健施設、これは要介護1以上の方が利用できますが、ここに入所されている方が189名、それから短期入所、ショートステイになります、ほとんどの方はロングのショートステイということで、ショートステイを継続して使っている方、この方が324人、また、要支援2以上のグループホームを使っているが79名で、実際に、まあ介護の認定を受けている2,053名のうち820人が施設等を既に利用されているということで、3以上の方の大半が施設等を利用されているということでございますので、3の人が在宅ということは非常に少ないのではないかなというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 最初の答弁で、1,025名中、タクシーを利用したのが76名で利用度が7.4パーセント。これは制度があるにもかかわらず、分からなくて利用してないんじゃないかなというふうな、この制度ね、7.4パーセントというのは、制度あるのが分からなくてこういうふうな状況になってるんじゃないかなとは思いますが、そこから辺はどうですか。

○議長（小林 悟） 筒井福祉保健部長。

○福祉保健部長兼福祉事務所長（筒井弥生） ただいまの質問にお答えいたします。

重度障がい者1,025名のうち、確かに申請されている方は76名ではありますが、重度障がい者の7割近くが60歳以上ということでございまして、重度の障がい者1級、2級、3級という方につきましては、介護の施設、あるいは若い方であれば障がい者の施設ということを利用されている方が圧倒的に多いという現状にありますので、実際には使える方という、在宅で使える方というのがちょっと非常に少ない状態ということがあります。

ただ、この制度を十分に周知していく必要があると思いますので、引き続き広報等を使って周知をしてまいりますし、また、この後、利用者にタクシー券配付する際等にもアンケート調査を行うなど、引き続き福祉のニーズを把握するように努めてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 実態としては利用できないような方がいっぱいいるというふうなこ

とを理解しました。

私は、このご提言の中で、まず介護度3、4、5の手帳を持ってない方に対するというふうなことのご提言なんですけれども、それとは別に、じゃあ自分でタクシー乗れる方ね、要介護1、2の方も対象にしたものにも、今実態聞きますと、そこら辺についても拡充してもいいんじゃないかなというふうに思いますが、それについてはどうですか。

○議長（小林 悟） 筒井福祉保健部長。

○福祉保健部長兼福祉事務所長（筒井弥生） ただいまの質問にお答えいたします。

要介護1、2の方につきましては、拡充ということでございましたが、他市町村の状況を見ておられますとも、重度障がい者を中心としたタクシー券の発行等をしてございます。そこにつきましては、今後、利用者の状況、今後の申請の状況、それから他市町村の動向も注視しながら、それから財政的な面も考慮しながら、どのような方法がいいのか、それからどのような福祉ニーズがあるのかということも踏まえながら、今後、全体的なことを考えながら、他市町村の状況も踏まえ、注視してまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 私はあれです、高齢になって大変なんだけれども、みんなと交流したいと、社会活動に参加したいというふうなことのやはりニーズは多いと思うんですよ。ですから、そういうふうなことを助けていくと、補助していくということは大切なことだと思いますので、このようなご提言をしたわけですが、先ほど部長も答弁したように今後またさらに検討を加えていって、よりよいものにしていただきたいというふうなご提言を申し上げて次に移りたいと思います。

道路ヒーターの、ヒーティングのことなんですけど、いろいろ答弁いただきました。で、結局、かなりの電気料がかかるというふうなことが何か、家庭の例見てもね、そういうふうなことを最近感じますし、それから施設維持、工事のことについても、だいぶお金がかかるんじゃないかなとは思いますが、大体そこら辺の積算というのはしてございますか。例えば50メートルとか100メートルやる場合にはどれぐらい。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

ロードヒーターの建設費用でございますけれども、規模によって変わってくるわけ

ですが、一番最近のもので言いますと大豊小学校のロードヒーターを設置したときの費用が約1億円程度かかっております。電気料の方ですけれども、昨年度3か所で約1,500万円の電気料がかかっております。今年度は、まだ2月使用分の請求が来てないですけれども、もう既に1,500万円ほど支払っておりますので、今年は2,000万円近くの請求が来るのではないかというふうに考えております。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） だいぶお金がかかるというふうなことを感じましたけれども、市民のやはり安心・安全の潟上市という点では、やはり危険箇所については特に絞ってやっていくというふうなことも私は必要じゃないかなと思うんです。それで、例えばこの中には出しませんでしたけれども、地名的には豊川の株山方面に行く道路とか、飯田川の奥の方とかいうふうなところが急勾配の道路がありますし、また、小・中学校の周りでも結構凍るといふふうなところもあります。それから下出戸関係の道路も、あそこはすごい風の吹きさらす通り道みたいで、アイスリンクみたいな凍るような状況があるんですよ。ですから、そこら辺絞りながら、もし今後必要であればやっていくというふうなことにはなるのか、ならないのか。お金を含めてですね。どうでしょう、今後の考え方について。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

先ほど藤原典男議員が言われた箇所につきましては、凍結防止剤の散布箇所として、追分下出戸線では交差点10か所など、あと荒長根株山線等でも凍結防止剤を散布して事故防止に備えております。もちろん事故が多発してかなり危険な箇所につきましては、もちろん検討していかなければいけないという場合もございますけれども、大きな事故もなく、危ないということですので、まずはこの凍結防止剤をまいて対応していきたいと。で、もし、我々気づいてるところについては凍結防止剤をまいてるわけですけれども、もしお気づきの箇所がございましたら、教えていただければ、その箇所をチェックして散布する箇所に加える等々検討していきたいと思っております。

○議長（小林 悟） 8番藤原典男議員。

○8番（藤原典男） 私、道路ヒーターね、増設のご提言しましたけれども、随分お金がかかるなというふうなことで、ちょっとこれは無理なのかなというような感想も持ちましたけれども、凍結防止剤とか、それからきめ細やかな除雪対応で、市民が困らないよ

うな対応を当面頑張っていたいただきたいというふうなことを申し上げまして、私の質問を終わります。どうもありがとうございました。

○議長（小林 悟） これをもって8番藤原典男議員の質問を終わります。

本日の日程はこれで全部終了しました。

お諮りします。委員会審査等のため、3月3日から14日までの12日間、本会議を休会したいと思いますのですが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小林 悟） 異議なしと認め、3月3日から14日までの12日間、本会議を休会することに決定しました。

本日はこれで散会します。

なお、3月15日水曜日、午後1時30分より本会議を再開しますので、ご参集願います。

また、3月3日金曜日、午前10時より予算特別委員会を開催しますので、ご参集をお願いいたします。

どうもご苦勞様でした。

---

午前10時38分 散会

